

和歌山県白浜町瀬戸漁港へ出現したシマガツオ *Brama japonica* (シマガツオ科 Bramatidae)

久保田 信

和歌山県白浜町の瀬戸漁港で、毎日、生物の生息観察を行っているが、2011年5月25日13時頃にシマガツオ *Brama japonica* が1尾、コンクリート製の岸壁のスロープの汀線で遊泳していたのに遭遇した。体長50cm あまりの全面銀色のシマガツオは、背鰭を海水面から出しながら、1分たらずの時間、汀線に沿って数 m ほど遊泳して、深所の方へみるまに泳ぎ去った。すばやい移動で撮影はできなかったが、張り出した頭に大きな目が特徴の外見を、複数の者が同時に観察した。

シマガツオはエチオピアともいわれ北太平洋の沖合の深みに生息し（100m 以深で通常150–300m）、魚類、イカ類、甲殻類を餌にしているが、夜間に表層付近に移動する食用魚である（木村, 1998）。しかし、本個体は昼間に出現

した。この個体は頭頂部の一部が赤くなっており、負傷していた可能性があるが、動きは俊敏だった。漁網にかかって逃れたものか、台風2号の接近でこのような稀な出来事が起きたのかもしれない。

引用文献

木村清志. 1998: シマガツオ科 In “中坊徹次・望月賢二 編集 日本動物大百科 魚類”, p. 117, 126. 平凡社, 東京.

京都大学フィールド科学教育研究センター
瀬戸臨海実験所
(〒649-2211 西牟婁郡白浜町459)